琴風

第48号

長崎大学ヨット部

目　次

1	会長挨拶	肥田　剛一
2	主将として	桑原　光希
3	村田先輩を偲ぶ会	肥田　剛一
4	広告	
5	収支報告	
6	阿南・矢津田メモリアル基金	
7	バラモン基金報告	藤原　久郎
8	近況の報告	天野実・高原武彦・安納強・田中洋・中島昇 荒木秀一・奥嶋裕司・乙吉隆司・濱田健一郎 釜田晋吾・田井（追立）みのり
9	現役活動報告	
１０	長崎大学ヨット部琴風会会則	

新会長挨拶　ならびに　新執行部紹介

令和２年１１月１５日（日）琴風会総会で皆様からご推薦をいただき、琴風会会長をさせていただくことになりました、昭和６０年卒スナイプクラス肥田剛一（ヒダコウイチ）と申します。今回はコロナ禍のため、「村田先輩を偲ぶ会」をハウステンボスハーバーで行なった際、屋外にて参加者会員で臨時総会を開催し、全員のご推薦をいただきました。

つきましては、精一杯当会を盛り上げ、現役をサポートしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず、日本全国を駆け回り、琴風会の親睦を深め、力強く支えていただいた、盈前会長のご功労に深く感謝と敬意を表したいと思います。

盈前会長！本当にお疲れ様でした。

そして、ありがとうございました！

先輩の長崎大学ヨット部に寄せる愛情を、これからも大切に育て、後世にしっかり引き継ぎたいと決意しています。

次に自己紹介をさせていただきます。私は現在、長崎日本大学高等学校で数学を担当しています。また、諫早で「肥田塾」を開業しています。高校ではヨットサークル顧問をし、時折子々川で一緒に練習させてもらうなど、コーチの貝原・岡田両先輩、そして学生諸君にとてもお世話になっています。また、江上・迫・福田先輩方のお声かけで、長崎大学と県内高校ヨット部の合同練習（於：福田サンセットマリーナ）に参加させていただくなど、皆様から温かいご支援を受けています。琴風会会員ならびに長崎県ヨット連盟を支える皆様に心より感謝申し上げます。ご恩返しの気持ちを込めて、琴風会会長を誠実に務めさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

続きまして新執行部の紹介をさせていただきます。

会　長	肥　田	剛　一	S56 教育
副会長	田　井	隆　之	H11 水産
副会長	池　田	まゆみ	H11 環境
事務局	貝　原	宗　重	S52 医学
コーチ	岡　田	昌一郎	S52 水産(入学)

次にお知らせです。現在、ホームページ・FACEBOOK などを活用し、新鮮な情報をお届けしています。現在、「長崎大学ヨット部琴風会」で検索すると、すぐにホームページが開きます。日ごろの練習風景、先輩方のご活躍、新歓コンパ、琴風会バックナンバーなど、盛りだくさんの情報を発信しています。学生時代を思い出し、子々川を身近に感じていただければと切に願っています。

最後に会長として、次のことを皆様にお約束いたします。

✧　皆様のヨットへの熱い想い、数々の思い出・伝統をしっかり伝え守ります。

✧　SNS を活用し、リアルタイムで学生の活動状況を伝えます。

✧　会誌を利用し、お互いの近況を確認し、旧交を深める場を提供します。

✧　そして何より、現役の活動を精一杯サポートし、皆様の心のオアシス！子々川を大切に守っていきます。

前執行部の皆様のヨット部にかける熱い想いは海よりも深かったと実感しています。皆様のお気持ちを大切に引き継ぎ、新執行部で琴風会をさらに前進（GO　AHEAD！）させてまいります。不慣れなスキッパーではありますが、精一杯フルハイクいたします！暖かい南風のように見守っていただければと願っています。新執行部一同も張り切っています！どうぞよろしくお願いいたします。

主将として

水産学部３年　桑原光希

私は入部した当初、支援艇の運転ばかりして、あまりヨットに乗っていませんでした。そんなモチベーションの低かった私が主将という役職についていることに自分自身とても驚いています。こんな私ですが、主将としての目標が二つあります。

一つ目は、部員全員が楽しいと思える部活を作ることです。ヨットに乗る以前に部活の雰囲気をよくすることは、部員のモチベーションや練習の参加率に影響してきます。さらに参加人数が増えると練習を盛り上げたり、質の良い練習を行えることにも繋がります。そして引退後に部員から楽しかったと言ってもらえる部活を作り上げたいです。

二つ目は、実力で全国大会に出場することです。個人戦にも出場したい気持ちは山々ですが、やはり行くなら団体戦で全国大会に出たいです。部員全員で同じ目標に向かい、日々の練習に励んでいます。実力で全国大会に行くことは決して簡単ではないと分かっていますが、だからこそ諦めずに全力で練習に取り組んでいきます。

最後になりますが、私たちが全力で練習に取り組めるのは、岡田コーチ、貝原コーチを含めたOB・OGさんの方々が陰ながら支えてくださっているおかげです。本当にありがとうございます。これからもご支援とご協力をよろしくお願いします。

今日はハウステンボスで村田先輩を偲ぶ会をさせていただきました。お写真の NATIVE DANCER 船上の村田先輩の笑顔はとても素敵です！そして、最高のヨット人生に敬意を表し、大村湾で献杯させていただきました。その後、ハウステンボスに集まったたくさんの方々が村田先輩の思い出を語られました。お話しを聞いているうちに、村田先輩のヨットにかけた想いの深さを、しみじみと感じました。
ハーバーに咲いていた季節はずれの桜の花を見つけた福田真理先輩が「ほら、見て見て！11月に桜の咲いとるよ。みんなが集まってくれて村田さんが喜んどるとよ。」という言葉を聞いて、桜の花が村田先輩の笑顔に見えました。村田先輩とのたくさん思い出が、温かい南風のように駆け抜けていきました。

村田先輩　万巻の想いを込めて　　GO AHEAD!

ありがとうございました。そして、お世話になりました。

村田先輩が大好きだった長大ヨット部愛唱歌です。楽しそうに肩を組んで、笑いながら大声で歌っていたお姿が今でも忘れられません。　　2020 年 11 月 15 日

いつまでもみんなの胸に

永遠のヨットマン　村田　富士夫

「カプリ島賛歌」

俺達ヨットマンだよ　風と波の仲間さ

海で会い　海で別れ　親しき仲間たち

忘られぬ潮の香り　今日も求めてゆく

俺達ヨットマンだよ　今日も海に集う

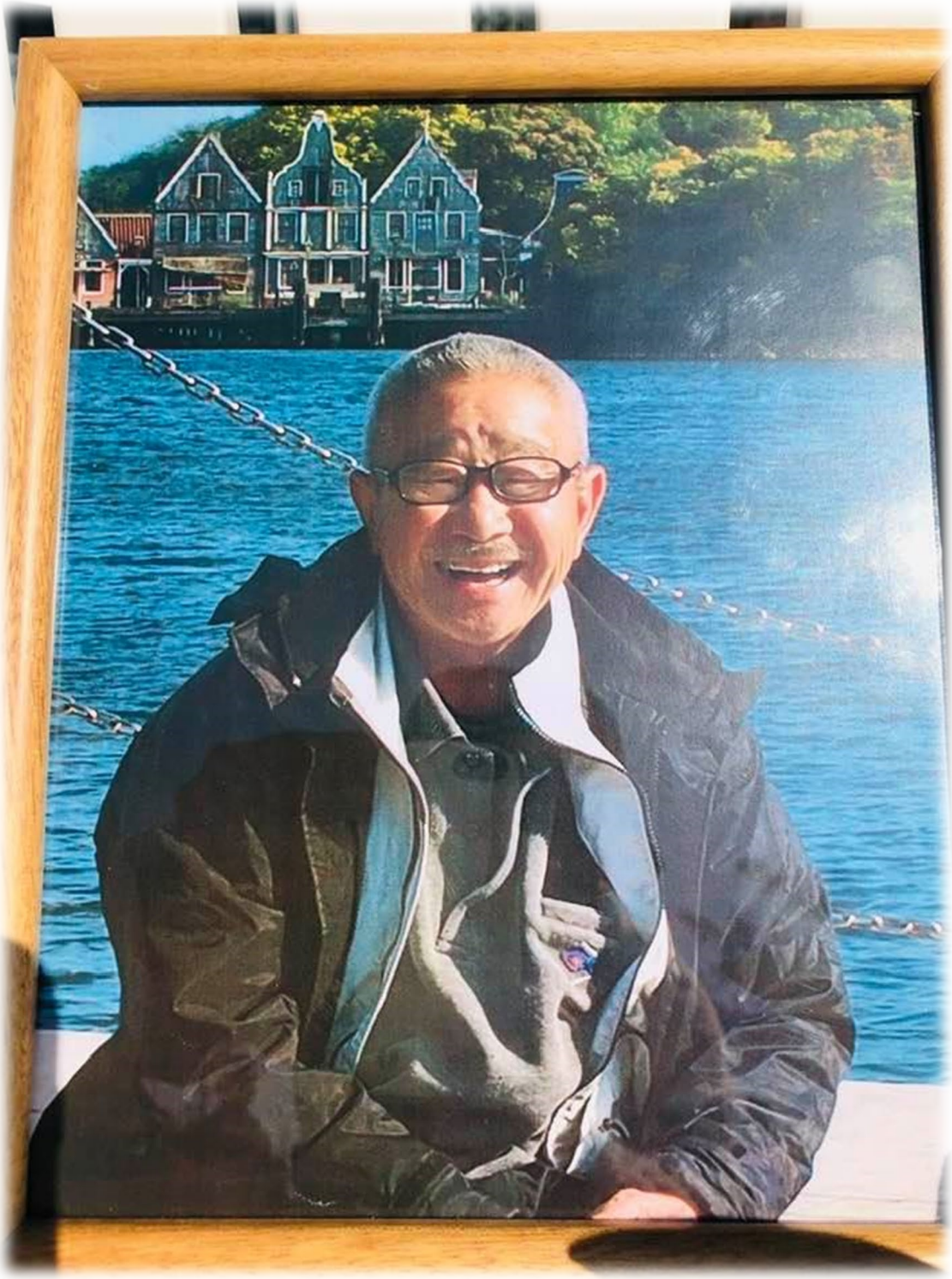
来る白波の時津の海で

ヒール殺しあう　若きクルーの歌

真白きセール帆上げて　ともにティラー握り　俺達ヨットマンだよ

今日も海に競う　今日も海に競う　　ＧＯ　ＡＨＥＡＤ

村田先輩



2020 年 11 月 15 日　ハウステンボスハーバーにて

Déjà vu

2020年度　琴風会収支報告

収入は 2021 年 3 月 31 日〆、支出は 2021 年 5 月 31 日〆

【収入】

	内　　訳	金額(単位:円)	摘　　要
Ⅰ	年会費	515,000	
Ⅱ	阿南･矢津田基金	558,000	2020年度までの総額5,777,000円
Ⅲ	広告費	280,000	
Ⅳ	預金利息	4	
Ⅴ	前年度繰越金	1,217,970	
	収入合計	2,570,974	

【支出】

	内　　訳	金額(単位:円)	摘　　要
Ⅰ	通信費	84,653	「琴風」送料･振込手数料･その他切手代 郵便局印字サービス等･ホームページ経費
Ⅱ	印刷代	142,692	「琴風」印刷費
Ⅲ	学生へ援助金	750,424	新入生勧誘費用 470 セール　3 セット 備品購入･セール修理　等
Ⅳ	活動費(慶弔費)	16,500	
	支出合計	994,269	

差引残高　　￥1,576,705　　2021年 5 月 31 日現在　次期繰越金へ

細目・払い込み日			支払先
2021年4月26日	470セール	513,040	ノースセール ジャパン
活動費援助			
2020年3月1日	新歓費用	150,000	
2020年4月1日～	部品・セール修理代	87,384	TOK 西九州ヤマハ他
計		750,424	
琴風会経費			
2020年10月7日	琴風会ホームページ	13,500	JIMDO
2020年7月3日	琴風誌発送	57,250	長崎北郵便局
2020年8月～ 2021年4月31日	琴風誌再発送 琴風誌原稿依頼	6,175	長崎大園郵便局
2020年12月15日	琴風会費再依頼	7,728	長崎大園郵便局
2020年7月8日	琴風誌印刷代	142,692	石田コピーセンター
2020年4月1日	生花スタンド 故村田冨士夫様へ	16,500	
計		243,845	
総計		994,269	

お客様コードNo 491510

納　品　書

No 113596

852－8061

2021 年 4 月 23 日

長崎県長崎市滑石5-16-6

(株)ノースセール・ジャパン
本社　横浜市金沢区白帆4-3 TEL 045-770-56
関西ﾛﾌﾄ 西宮市西宮浜4-16-2 TEL 0798-26-7771
振込先　りそな銀行 大船支店 普通 1055366
三井住友銀行 横浜中央支店 普通 7095756
(001)担当者：　白石

貝原　宗重 様

TEL095-857-7973　FAX095-857-7973

下記の通り納品致しましたのでご査収下さい。

品番・商品名	数量	単位	単価	金額	備考
(00004151) 470 MAIN SAIL N9-L5 4453 4454 4582	3	ﾏｲ	122,000	366,000	122,000
(00014151) 470 JIB SAIL S5-B4	3	ﾏｲ	69,000	207,000	69,000
(00023551) 470 SPINNAKER V2 4582	1	ﾏｲ	73,000	73,000	73,000
(00009928) 470 ﾀｸﾞ	7	ｺ	2,100	14,700	2,100
(00030025) 470 SAIL IHC 計測料	7	ﾏｲ	700	4,900	700
※明細金額：税抜きです。 摘要：　長崎大学様分			合計	¥665,600	次頁へ

お客様コードNo 491510

納　品　書

No 113596

852－8061

2021 年 4 月 23 日

長崎県長崎市滑石5-16-6

(株)ノースセール・ジャパン
本社　横浜市金沢区白帆4-3 TEL 045-770-56
関西ﾛﾌﾄ 西宮市西宮浜4-16-2 TEL 0798-26-7771
振込先　りそな銀行 大船支店 普通 1055366
三井住友銀行 横浜中央支店 普通 7095756
(001)担当者：　白石

貝原　宗重 様

TEL095-857-7973　FAX095-857-7973

下記の通り納品致しましたのでご査収下さい。

品番・商品名	数量	単位	単価	金額	備考
				665,600	前頁より
			消費税等10.0%	66,560	課税対象額 665,600
※明細金額：税抜きです。 摘要：　長崎大学様分			合計	¥732,160	内消費税等 (66,560)

試合用セールが 7 年前から使用しているセールで、部員よりセール購入援助の申し出がありました。ジブセール代金として 22 万円を部員が工面しましたので、残る 51 万円余りを琴風会より援助しました。スピンネーカーは 1 枚となっていますが、3 年前の全日本インカレ出場時に集まりました援助金よりスピンネーカー2 枚（セールナンバー４５４３と４４５４４）を購入し保存していましたので、今回の購入で 3 艇分の New フルセットが揃いました。皆様の会費納入の賜物です。今後ともよろしくお願いいたします。

皆で育てる「阿南・矢津田メモリアル基金」その８

稲岡先輩アルバムより

2020 年度は新型コロナウイルス流行のため、現役の活動は厳しく制限されインカレ等の県外遠征は全て禁止となり、また、子々川での活動も長期にわたり休止となりました。現在、限られた時間（10 時から 14 時）での活動となっており、部活動継続のモチベーションを保つのもなかなか難しい様です。

会員皆様よりの会費・寄付はコロナ禍にもかかわらず、例年通りの状態となっております。遠征試合再開に向けて現役部員に New セールを寄贈し、彼等のモチベーションアップとなっており、なんとか新入部員も集まっています。

基金への寄付は、5,000 円未満も大歓迎です。200 名を超える会員数ですので、皆様のご厚情が集まれば、大きな力になります。

2021 年度年度現役への援助予定

試合遠征費（艇運送費）：

九州インカレ個人戦、九州インカレ団体戦、九州 470 選手権

福岡小戸:110,000 円 x ３ 、計：330,000 円

艇整備費：200,000 円

部員勧誘準備費：　勧誘チラシ作成・レンタカー代等：150,000 円

合計:650,000 円前後の金額を援助予定です

琴風会事務局：貝原（佐伯）宗重　記　　2021 年 4 月

2020 年度までに寄付をいただきました

氏名一覧	大塚俊明	後藤寛幸	田村徳子	迫龍二	松永高尚
綾部洋一	大串豊美	小針美樹	塚本徳雄	畑田英樹	水谷正
案納強	大間賢一	財前博	筒井憲昭	波多野徹	満永さゆり
荒川敏明	岡田昌一郎	斉藤賢治	土井克博	浜口孝	満永宙矢
荒木秀一	岡田利久	齋藤謙太	徳島惇	濱田達一郎	盈辰博
石黒真理子	岡部望美	斉藤博	徳島尚	林田邦雄	宮崎新治
井手稔	岡本美佐緒	佐々和明	徳丸孝行	林日出喜	宮崎徹
伊藤祐介	奥嶋裕司	佐藤恵子	豊長和也	原佳伯	村井清文
伊藤玲子	乙吉隆司	佐野義一	中恵子	肥田剛一	村田富士夫
糸永正明	貝原宗重	鹿谷隆朗	中尾剛規	**日向純平***	森健二
糸永雅治	片木敏彦	柴田晋作	中川準平	福田真理	森永英彦
稲岡晴紀	勝本富士夫	澁谷統寿	中島貴史	福田豊	森西康夫
岩高宏樹	蟹江康夫	島岡啓一郎	中島昇	藤井崇博	八百山孝
岩永正明	亀井勝重	島崎勲	永田恵美	藤澤信明	八木治
上坂政勝	蒲生公義	**庄司紘介***	長田理恵子	藤原和夫	安田宣子
上田健	鎌田普吾	大門伸之	永富和義	藤原久郎	**八島敏明***
植松義幸	川嵜　滋	大門広美	中原剛志	細波文男	**矢頭宏一***
牛島信雄	川瀬翔馬	田頭奈菜子	中村賢司	堀居堅	矢野右人
内田勝久	河田和子	高原武彦	中村真理子	本田由紀夫	八幡和幸
江石清行	神崎修	田代雅美	中村道夫	前川清隆	山口俊明
江上徹也	草野義昭	田中修一	楢林好隆	前田貴裕	山田秀樹
江口和哉	草場秀彦	田中洋	西山英行	前田昌顕	吉田智香子
大熊典子	國宗信之	田中光代	仁田原司	益本智星	吉村博史
大塚一徳	後藤匡克	谷田健郎	蜷川博之	松尾晃一	龍尾一信

2020 年 11 月 15 日、ハウステンボスマリーナに“て村田冨士夫先輩を偲ぶ会”を開催しました際、長崎大学ヨット部 2 代目顧問、故岩崎勝郎先輩のお嬢様お二人が参加され琴風会へのご寄付をいただきましたので、本基金への寄付といたしました。

バラモン基金報告

この度、長崎大学バラモン基金の歴史に終止符を打つことにしました。理由はもう何年も借りたいという希望者を出しておらず、私も古希年齢を越したからです。
振り返れば、私が入部した昭和 40 年代の頃の長崎は絶好調の時代でありました。三菱長崎造船所が続々と巨大タンカーを作っていた時代です。長崎国体開催もあり、ハーバーが整備され県のヨット界も活況を呈していた時代でした。私が入部した頃のヨット部は人で溢れかえっていました。当時、不文律としてインカレ全国大会に行くには留年が当然という空気がありました。医学・経済・工学部には留年、退学者が続出していました。３・３・★・２という大？記録があります。歴代キャップの留年回数です。★は学園紛争の煽りで整備された１学部 2 年制度で放校になったしまった先輩がいました。はちゃめちゃな時代だったのですが、お陰様で毎年の様に全日本インカレに出場できたのです。
当時、県ヨット界ではチャバスコ旋風がありました。この外国艇に勝つにはどうしても新艇が必要でした。このお金の借金先が故阿南先生で、この借金が基金となりました。
私が無利子バラモン基金の管理人になり、もう 40 年経過しました。ヨット部のために少しは貢献できたかなと思います。阿南先生の遺徳を偲び、かつ学び、残りの基金を長崎県ヨット連盟に 50 万と長崎大ヨット部に 30 万を寄付することにしました。若い人のために有効に使って欲しいと念じています。それと丁度、阿南先生のお孫さんが長崎大学医学部に入学されたのでそのお祝い記念品とさせて戴きました。
基金には琴風会の OB 諸氏からご寄付を頂いたこともあります。皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。

第 19 回生　藤原久郎

悠介君へ

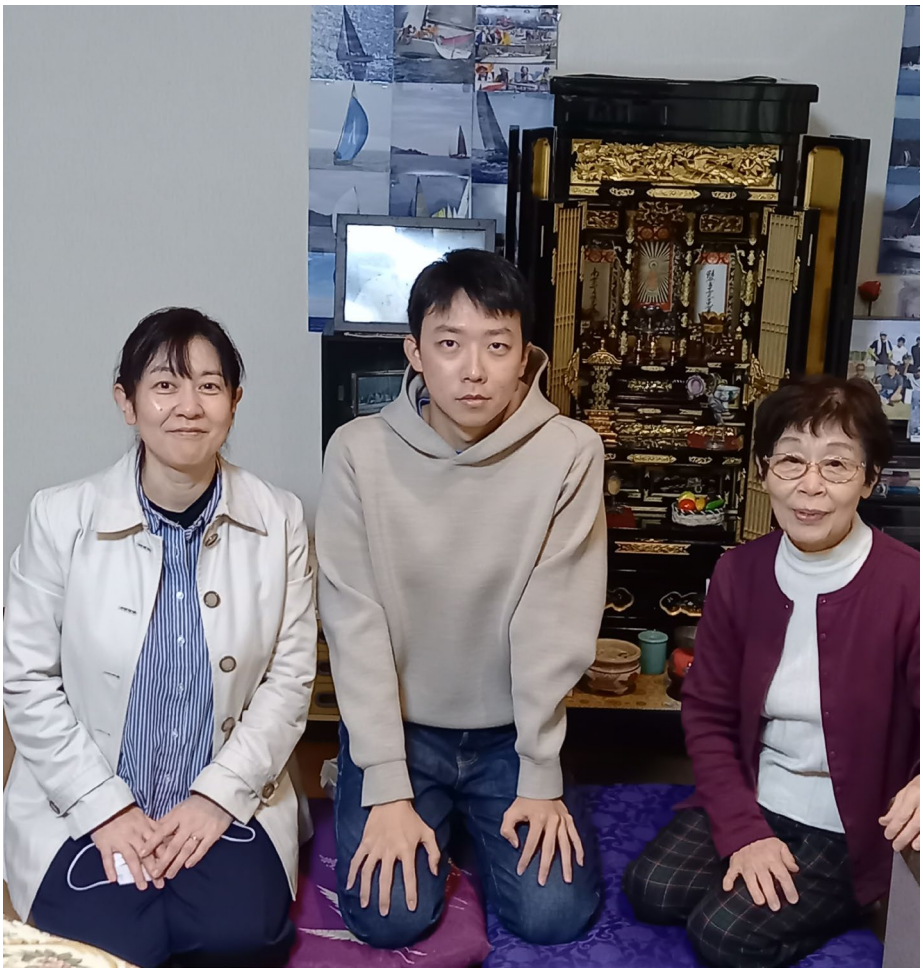
若葉新緑が笑うようにそよぐ季節になりました。長崎大学医学部へようこそ　おめでとう

　私は貴男のおじいさんである貞雄先生の後輩で、ヨット部の後輩でもあります。私は医学生時代、和歌山遠征のついでにヨット部牛島先輩と二人で舞鶴まで足を伸ばしたことがありました。そこで貴男の曾祖父さんからのお座敷歓待を受けたことがあるのです。真っ黒で野宿したような風態でしたから、貧乏学生には夢のような一夜でした。
　貞雄先生からはヨットライフはじめ様々なことを教えてい頂いたのですが、私に取って強烈だったのはお金の使い方でした。学生時代、私たちはお金がないために社会人の方との試合で悔しい思いをすることがありました。彼等はチャバスコと言われる外国製のスピード艇を持っていたのです。艇差、つまりお金の差がありました。私は国体長崎県予選で優勝するにはスピード艇を持つしかないと思っていました。貞雄先生も同じ考えだったろうと思います。で、お金がなかったので先生にお金を借りに行ったのです。そしたら、「そうね」の一言でポンとお金を出してくれました。それは、先生がフランスへ留学直前のことでした。このお金でチャバスコに対抗するために、国内の造船所を探し、新艇を購入したのです。名前は五島のバサラ鬼「バラモン」と名付けました。その年の県予選は当然私たちと社会人トップとの一騎打ちになったのです。
彼等はこの国体出場が最大目標だったのです。私たちは全日本インカレが目標でした。国体はおまけの感じでした。試合は大接戦でした。最後にこの差が出たと思っています。最終レース、相手は露骨なチームレースを仕掛けてきました。徹底的に抑えられ負けました。後で聞くとトータルでは私たちが総合点では勝っていたそうですが、アホな私が単純に計算を間違ったために負けたとスキッパーに報告、二人落胆して、子々川の艇庫に帰った苦い思い出があります。
　借りたお金は私たちが卒業してから、私がまとめ役で少しずつ、コツコツ貯めておりました。私は大学院学生でしたのバイトもできず、あまり、貯めることができない生活でした。
　やっとさ貯めたお金がまとまった額になったので、利子もつけて貞雄先生にお金をお返しに行った所、「よかごと使わんね」の一言。私は、もうびっくり。ひっくり返りました。
それでこのお金を基金としてバラモン基金を考え出し、私が管理人になりました。無利子、ペナルティなしで長大ヨット部学生さんに貸したのです。阿南流というか「卒業してから、ぼちぼち返さんね」方式で運営したのでした。多くの人が助かったのです。先生は心温かい大人物でした。
あれからもう 40 年以上経過しました。

私も高齢者になってきましたので、清算することにしました。それで先生が会長をなさっていた県ヨット連盟と長崎大学ヨット部に寄付することとしましたが、その経過で貴男が医学部に入学したことを知りました。一部ですが、阿南基金から貴男に入学記念としてこの万年筆を贈ることにしました。

人生の大事な節目に自筆でサインする機会があろうかと思います。そんな情景を思い浮かべているのですが、人様とのコミュニケーションツールとしても、この万年筆を使ってください。
患者さんはスキルだけでは治せません。どうしても治せないことも多々あります。いつもスキルプラス患者さんに寄り添う温かい慈悲の心（ケア）も必要です。
患者さんに気持ちを伝えてくれるのも自筆からのメッセージです。自筆はその人の個性が滲みでます。末長くご愛用いただければと願ってます。

藤原　久郎



海：　昔々、万行寺合宿の後、上坂君に釣りを誘われディンギーを漕ぎ出した。

道具はありあわせの竹竿など。何が釣れたか覚えていないが小さな雑魚だった。

これが初めての海釣りだったが、卒業後しばらくして沖釣りにはまり毎週末は釣行。

鯛、甘鯛、レンコ、イトヨリなど高級魚がよく釣れた。

嶋長先輩からご指導頂いたことも思い出される。

　現在は 6.9 メートルのボートを所有し、東シナ海の超近場で、小物の熱帯魚釣りやダイビングを楽しんでいる。最後は近くの海に散骨の予定です。

37 年卒　天野　実

係留場所は宜野湾市　宜野湾マリーナ

長大ヨット部遭難・漂流・クルージング日誌

昭和 31 年入部　高原　武彦

昭和 31 年（1956 年）年入学と同時にヨット部入部。昭和 31 年 9 月 5 日から 9 月 9 まで大村湾一周クルージングに参加する。小生の古い日記にクルージング日誌をたまたま見付けた。

9 月 5 日（晴)、昨日クルージングの出発が一日伸び艇庫に岩崎と二人で泊る。今日は絶好のヨット日和。11 時時津出航。先輩の船越さん、同期の岩崎と小生と共にスナイプ「エリザベス」で出航。ランニングコースで比較的帆走は楽だったが、うねりが大きく白波もだいぶ出ていた。なかなかよく走る。途中一寸船着場に寄る・西海橋の近くの崎針折まで 4 時間余りで着いた。夜は漁協組合の倉庫らしいところに泊る。夜の西海橋を見物して寝る。

9 月 6 日（晴)、西海橋で記念写真を終え 10 時頃より出艇。川棚では戦時中の廃墟で昼食、2 時頃川棚港に着く。風呂に入りお宮でくつろぐ。副食はうまいものなし。味噌汁と佃煮といった食事。風も相当強い。

9 月 7 日（曇り後雨)、途中、千綿に寄り松原に泊る。公民館の畳お上で眠ることができた。風が吹く時はかなり強い。雨にぬれて頑張った。

9 月 8 日 (土)、大村で宿泊する。「水名荘」と家らしい立派な建物だ。蚊帳も毛布もあり、久しぶりにお茶碗でご飯をいただき風呂に入り人間らしく寛ぐ。台風を避けて艇は真珠研究所跡地に繋ぎ台風通過を待つこととなった。

9 月 9 日朝 6 時起床。大村の朝は大変天気よし。どこから台風がやってくるのだろうと思われるぐらい良い天気。風は時津へはランニングコース方向でよい風も吹いていた。台風がやって来る前に時津にたどり着くことに決まった。朝食抜きで前船津を 7 時１０分に出航。うねりはどんどん高くなって風も１０m 以上吹き強いブローが吹き付けるようになったので途中長与の裏に魚雷工場と云われた船着場へ着けて避難をお願いした。「職員以外立ち入り禁止」と「ヨットを繋いでも波でやられるだろう」と言われたので時津に向かうことに決心して出帆する。最初はジブセイルだけで走った。堂崎の岬を廻ると波が静かになったようなのでメインセイルも張って走る。歌を歌い元気を出してしばらく走らせる。「１９５６年の A 級台風がヨットを倒せないなあ」と豪語したところが強い突風に煽られ、ばったりマストが倒れ沈してしまった。マストやセイル等解装する。荷物を「ブロンディ」に移す。同期の田崎がブロンディから応援に「エリザベス」へ移乗してきてくれた。艇はマストと船体となる。艇内には海水が風呂のように溜った状態で体をその中に沈め体温を感じながら漂流すること 3 時間余り。寒くなり手はしびれてくる。最初は 4 人で歌を歌い元気づけていたが波は高くなり、空は曇って暗い。風は海水を波しぶきに変えてすごい音をたてながら吹き付けてくる。これでは救助船が出ないのではと一時は皆んな救助船をあきらめた。小生ひとり艇に居残り 3 人はマストにつかまり艇を捨てて近くに見える鷹島に向かって泳ぎ始め艇体から離れて行った。

スナイプの風呂でひとりになって何故ひとり残ったか考える。私が子供の頃兄二人が海軍兵学校卒業で長兄は戦死。3 番目の兄は戦後、九大ヨット部で活躍中に私が中一の時、名島の沖でディンギーに乗せてくれ初めてヨット経験をさせてくれた。また、私の父親は昔、和式の水泳修行の経験者だったこともあって、わが家では溺れた時や海での遭難等の掟を子供の頃から聞いたり経験したりしていた。それで咄嗟に「船は捨ててはいけない」と判断できたと考える。また、島まではかなり遠いようで自分は泳いで島まで無理とも考えて舟に残ったようだ。

艇を離れてマストを頼りに泳いで島に向かった 3 人も間もなくこの海の状態では泳いで島までは無理と判断し戻って来た。それからは体をこすり暖めながら艇が流され対岸に近づくこと運を天にまかせる。後 2 ～3 時間すれば対岸に流れつくぞと励まし合いそして沈黙が続く。岸まで俺はもたないと思いながら時津を眺めるが救助船は出て来ない。

その後沈黙が続く。ふと誰かが長与の方から来る船を見つけた。その時の嬉しさと言えば言葉にならず首に巻いていた手ぬぐいを手に取り懸命に振った。大きなうねりと白波の中で漂っている小さなヨットを見つけることがむつかしいようで、船主を反対に向けて離れて行く。それを見てがっかりしたが負けずに手ぬぐいを振り続けた。何度か離れたり近づいたりくり返すうちに救助船も気付いたようで手を振ってくれている。これで生きて帰れるのだと 4 人で声を上げて手を振った。とうとう救助船が近くにやって来た。飛んで来るブイに体をまかせ、大きな借物の鍋を片手に船に登り上がる。案外元気だなあと報道陣からの声が聞こえたが手が振るえしわしわになっていた。救助隊、報道陣や警察の方々に先輩と一緒にお礼の挨拶廻りをして、先輩は調査のために残り、新入生 3 人は浜口さん宅でシャワーお浴び食事をいただいた。熱い味噌汁の味は忘れられない。

道ノ尾駅 7 時 57 分発の列車で家路についた。だまって家にあがったが父母はラジオニュースで知っていて「はいお帰り」と言って終わった。

それからヨット部生活 6 年続くこととなった。

クルージング日誌より

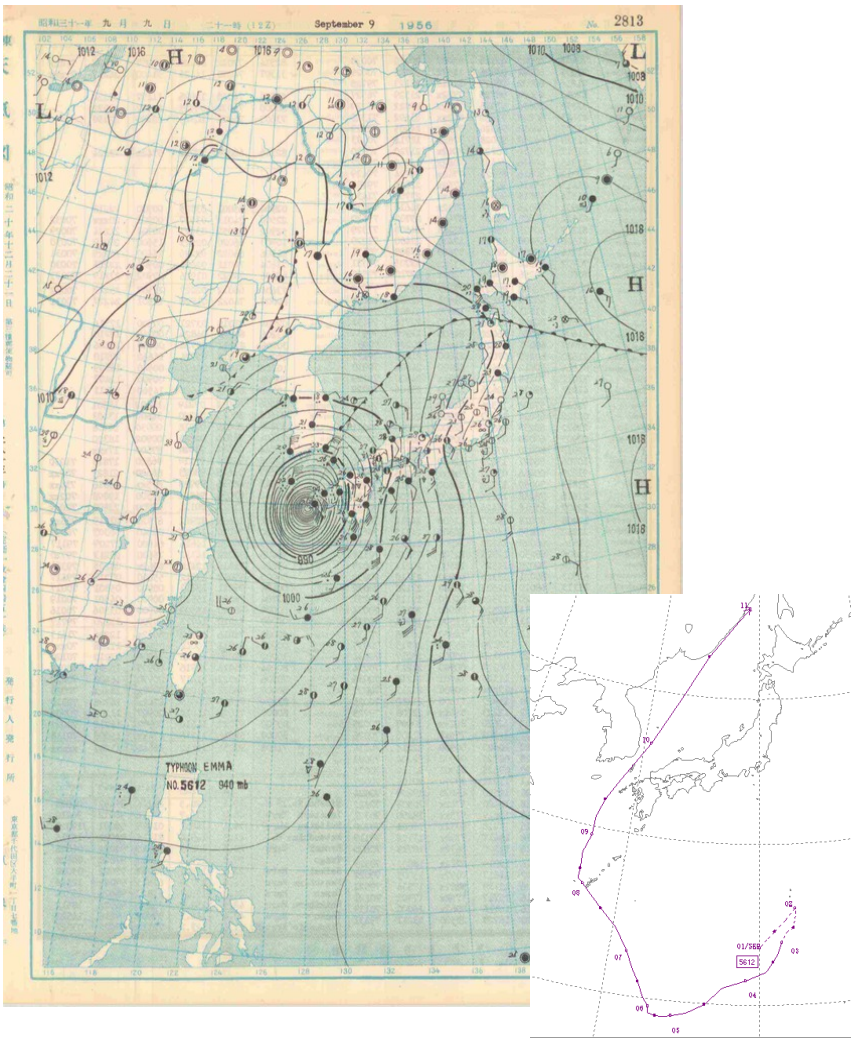
追伸

私は現在、有田の老健施設“幸寿園”で若い色々の他業種のスタッフに囲まれて施設長と医師の仕事をひとりで頑張っています。

クルージング原稿と古い写真を同封しています。我々時代のインカレ風景ヨットマンの姿いで立ちを見てもらうため。物の豊でない時代の。

昭和 31 年台風第 12 号（国際名：エマ/*Emma*）は、 1956 年（昭和 31 年）9 月 3 日に発生した台風である。エマ台風とも呼ばれる。9 月 8 日、沖縄気象台（那覇市）は、当時の最大瞬間風速第 1 位となる 73.6m を観測した。同日、最低中心気圧 930 ヘクトパスカルを記録[3]。沖縄地方では、戦後最大といわれる大きな被害を出した。屋久島では 517.9mm、名瀬市などで 200mm 以上の雨量を記録した。日本海を通過した際には北陸地方にフェーン現象をもたらし、魚津大火の原因となった]。死者 39 人、負傷者 251 人、行方不明者 2 人、全壊家屋 5318 戸、浸水家屋 4800 戸、田畑埋没・流失約 4.5 ヘクタール、田畑冠水約 14.1 ヘクタール、道路・橋梁・堤防の流出・損壊 336 か所。別の統計では、死者・行方不明者 36 人、負傷者 188 人、住宅全壊 2957 棟、住宅半壊 7942 棟。

長崎港・有明海で高潮が発生。有明海の干拓地で塩害が出て、佐賀県・長崎県の水稲が壊滅的な打撃を受けた。



1956 年 9 月 9 日天気図

“楽しかったヨット部時代”

昭和 41 年入部　安納　強

「ヤッター！」福田の浜辺に達成感に満ちた、さわやかの笑顔の若者たちがいた。
その日、初めて長崎での九州インカレが開催されていた。一年先輩の矢津田キャプテンと我々昭和 41 年入部の 4 年生スキッパーを中心とするメンバーでの初めての九州インカレ優勝と念願の全国インカレ出場を決めた瞬間であった。長大ヨット部の歴史を作った一幕であった。

遠い昔のおぼつかない記憶ではあるが、確か 1 レース目の上マークでは私が 1 番に回航、2 番が他校で 3 番に塚本が回航した。下マークからチームレースのため私は 2 番の他校を抑えるべくタックをし合うマッチレースを試みた。その間に塚本は良い風を掴み 1 番にゴール、私が 2 番となったと思う。中島も 3 番艇ながら上位に喰い込み A 級ディンギー組の大きな流れを作ったようだ。

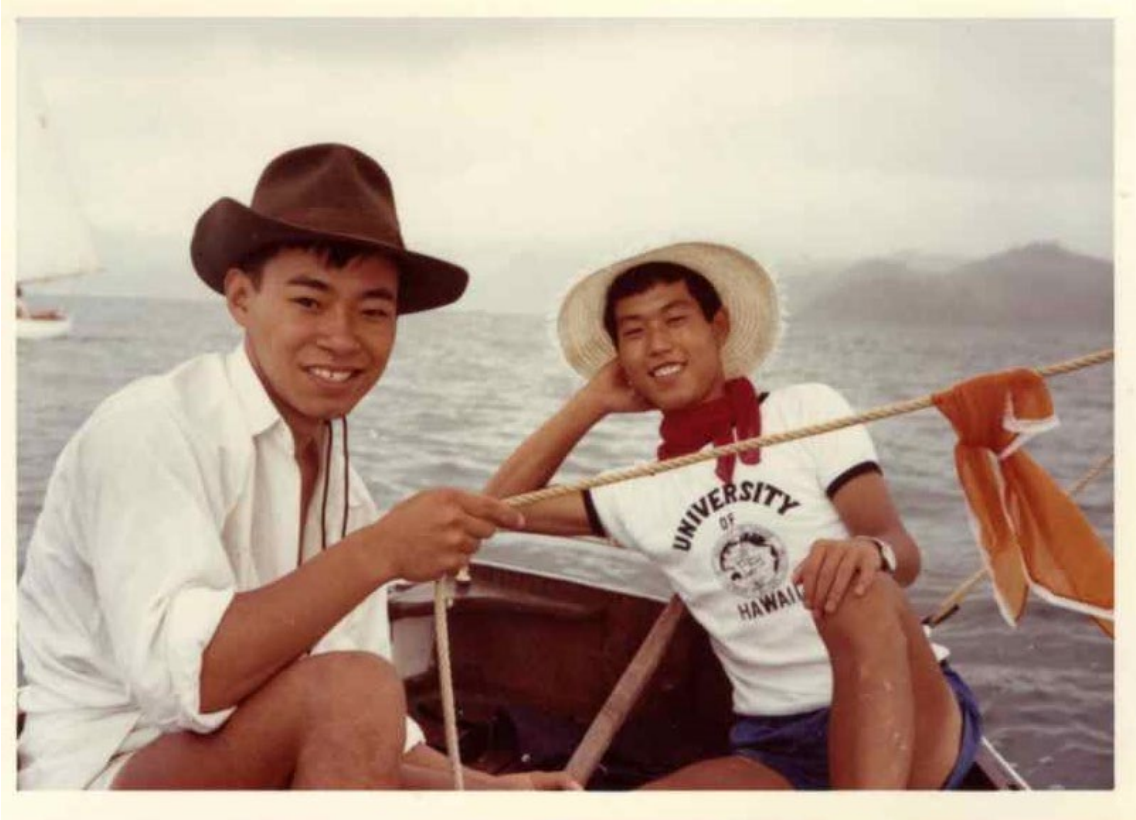
ここに敬意を込めて当時のスキッパー連をあげさせてもらおう。スナイプ級は矢津田キャプテン、笑顔で元気いっぱい故吉田、声も身体も大きな田中修、鹿児島のニヒリスト佐野、将来医者に？酒呑み牛島、国体青年女子優勝岡田光（現田中修奥方）。
ディンギー乗りは帆走上手な塚本、3 番艇でも上位に喰い込む中島、笑いの大阪ヨットマン

上田、そしてサブキャップの私安納。以上がスキッパー陣（他に田中洋・福永）である。更に私のクルーを務めてくれた中村をはじめ 3 年生･2 年生の優秀なクルー陣にも恵まれていた。また、1 年生裏方も良くサポートしてくれた。

当然この優勝は我々当時の現役メンバーだけで達成できたものではなく、諸先輩方からの長い歴史があり、大学関係・長崎ヨット連盟なども優勝への道程には必要なものであっただろう。また、決して裕福ではなかった時代の家族からの仕送りなども忘れてはならない。この年になって親の苦労が良く判る。

私は大学インターン研修で東京行きのため全日本インカレには出場できなかったが、自分としてはもう満足であった。その分上田が活躍してくれたと思っている。

当時インカレ以外にも楽しい思い出がたくさん有る。ヨット練習はもちろん合宿・遠征・整備・サーキットトレーニング・クルージング（初めて外海、綱場～大島崎戸島～生月～西海橋～子々川）では台風び遭遇したり、資金集めのダンパ開催など今思えば全て楽しい想い出である。また、当時のアルバムを見ていたら大村湾長距離ヨットレースの記事も出て来たのでここに貼り付けておきます。中島と 2 人で組んでスキッパーを交代しながら気楽に走れたおかげで優勝できたように思う。



元気だった我々も 70 歳を過ぎ寄る年波には勝てず逝去された 2 人の他、私も大きな病気をして近所の散歩くらいしか出来なくなった。最近では同期の集まりも難しくなったが、しかし、同期諸君よ！「ヨット部時代はたにしかったネ。身体をいたわり元気に長生きしましょう」。

最後に現役ヨット部の諸君よ！「青春は二度と無い。勉学は勿論のこと、潮気のあるヨットマンになって下さい。貴君達の活躍をいつも願っています。」

毎年の【琴風】も楽しみにしています。

安納　冬自宅にて

4
3 牛島 幼年度 追出コン
2 吉田 矢津田 キャプテン
1 佐野 喰本 中島

八
田中修 岡田 追吉輩
上田 宗納

大村湾長距離ヨットレース
左中島 右安納

フィン級で香月・波多野組

大村湾長距離ヨット

第五回大村湾長距離ヨット・レース（県ヨット連盟主催）は十七日午前十時から二十二チームが参加して開いた。各クラスの成績は次のとおり。

【ディンギー級】①案納・中島（長大）6時間15分10秒②松永・武田（三菱重工）③近間・岩村（同）

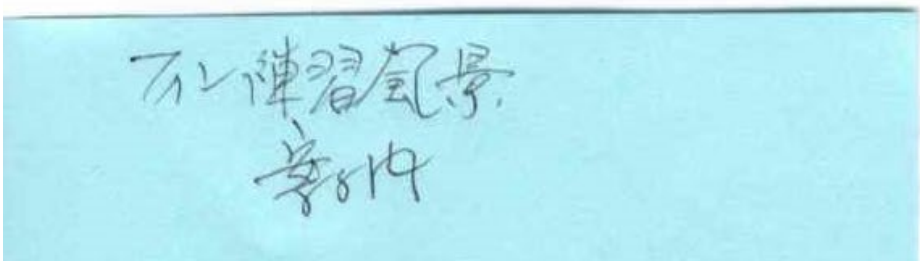
【スナイプ級】①中山・倉橋（三菱重工）5時間18分55秒②片山・田ノ尻（同）③矢津田・佐藤（長大）

【フィン級】①香月・波多野（長大）5時間40分7秒

福永 矢島 矢津田 吉田 杉島

[illegible] 中島

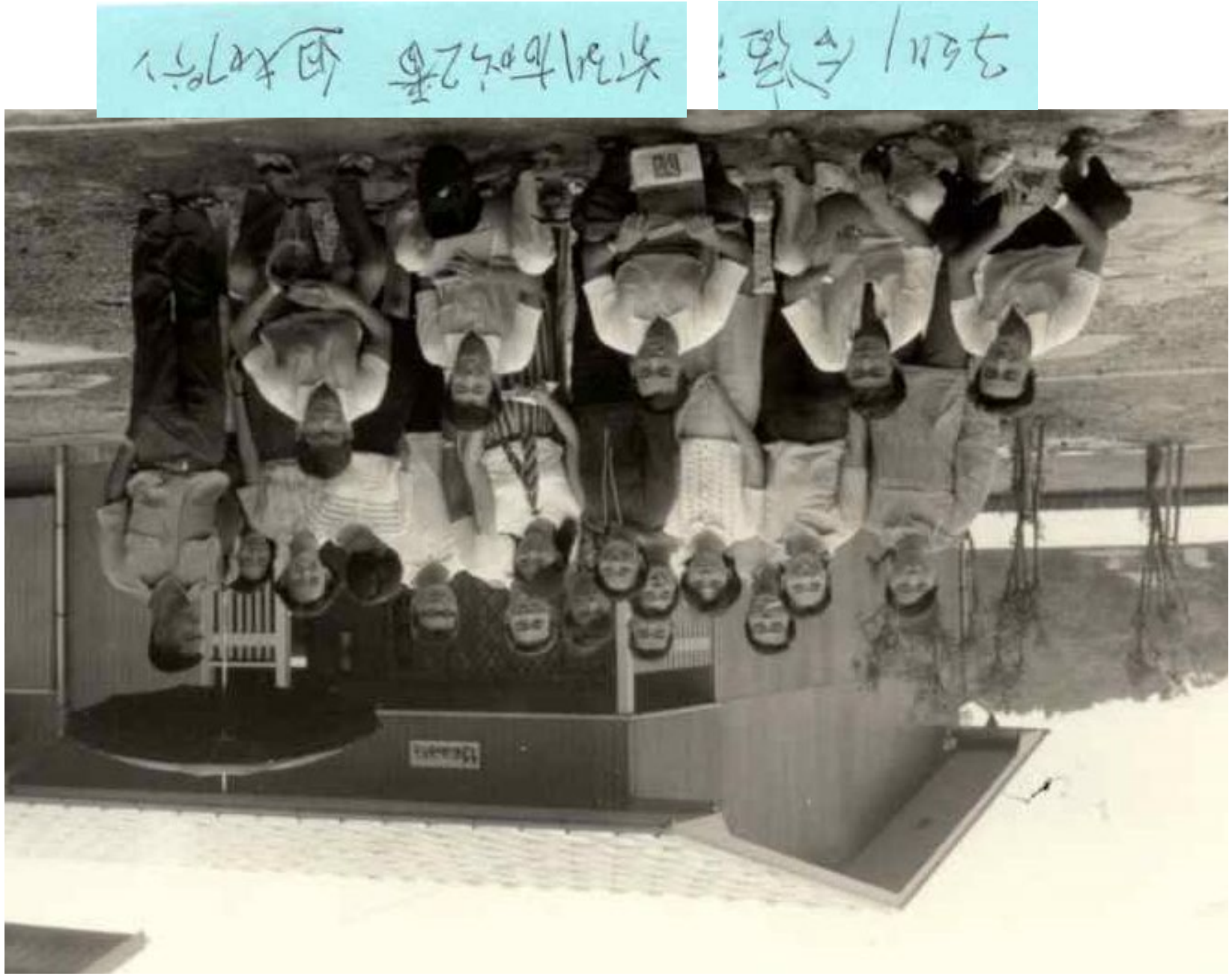
2601


ヨン練習風景
第8件

子之川 練習風景

鹿児島インカレ？
黄田キャプテン

インカレスタート
・A級ディンギー



前略. 先月. 11月1日に. 上対馬西北. 伊奈漁港にて須崎寛和さん（水産・平成16入. 田ノ浜にて合同会社フラットアワー経営）に会いました（写真）小生. 今年5月-6月に続いて. 今年10月-11月に対馬一周壱岐・九州北岸の第2回和馬台国クルージングを行い. その途中. 伊奈に寄港したものです。琴風会のご縁を感謝いたします.

2020.12.03

279-0031

浦安市舞浜2-24-15
ヨット<Yukikaze>
田中洋（S41入）

皆さん今日は、S41 年水産学部入学の中島昇です

昭和 41 年入部　中島　昇

私は、半世紀以上前の時津の子々川沖で、西山大先輩から「父さん母さんは、ヨットに乗るのを心配しとらさんね」と聞かれた 1 年生から、ずーと A 級デインギーに乗っていました。

長崎の福田沖で行われた九州インカレを優勝という最高の形で終えることができ、興奮が冷めないなか、4 年生の私は、夏の暑いさなか初めて就職に向きあい、あまり考えることもなく山崎製パンに就職しましたが、就業の厳しさなどから 2 年で退社。その後、長崎県に 35 年間勤め、主に漁協の合併促進、あじ、さばの資源管理などに従事しました。定年退職後は、資源管理の関係団体に 8 年間勤めました。

仕事を勤め上げた 2016 年にかねてより計画していた福岡市の西隣に位置する糸島市に住居を移転しました。近くには娘夫婦と孫 1 人がいるだけで、周囲にはまったく知人がなく、さらにつきあいのない集合住宅であり、気軽に話ができるのは、犬を飼っている者間で散歩時に言葉を交わす程度となりました。

こんな中で私の 1 日は、早朝起き、柔軟体操をやれる部位だけ行い、犬の散歩、室内犬にふさわしい処理や食事の世話など、さらに風呂場の掃除、自室の掃除を午前中で済ませ、午後は好きなことをする。読書、映画、テレビの初歩の英会話など内向きが多いが今のところ退屈せずに、むしろ時間が足りないような中で 1 日を過ごしています。

私は、5 年前にパーキンソン症と診断され、やや不自由さがあるものの妻の協力により、

幸いに一応の日常を過ごすことができています。

改めて振りかえると、今ある自分の原点はやはりヨット部であると思います。仕事への向き合い方、家の処理の決断など、ヨット部時代に身についたと思われる慎重な中にも、がむしゃらにやった結果だとの思いです。そして友人としてのつながりは、半世紀を過ぎてもなお濃いものがあり、すんなりとその時に戻ることができると思うのです。これからもこんな中で、日常を過ごしていくと思っております。

最後になりますが、ヨット部の繁栄と、特に同級生の仲間のご健勝と幸多からんことを心からお祈りし、また、新型コロナ禍に立ち向かわれている医療現場の方々へ感謝の意を捧げ報告を終わります。

奉祝
天皇陛下御

近況のご報告

昭和５１年入部　　荒木　秀一

皆さんご無沙汰しています。酒乱の荒木でございます。就職当初はヨット部後輩諸氏に、「どうせすぐに酒のせいで先生辞めさせられるぞ」と噂されていましたが、３年ほど前、中学校教員生活３５年、無事定年退職をして、あろうことか皆様の大切な税金から分不相応な額の退職金まで頂くことができました。その後は独身でもありますので、誰に気兼ねすることもなくのんべんだらりの生活をしているのですが、１年のうち３か月だけまじめに働くことがあります。

と言いうのも、退職前の６年間、旧外海町、現長崎市立の黒崎中学校に勤めていました。長崎市周辺部の海あり山ありの自然に恵まれた小さな学校でありました。ありましたというのは、現在は統廃合で外海中学校となり、校舎も旧出津小学校跡地に新築されているからです。角力灘に臨み、遠藤周作文学館や長崎天草潜伏キリシタン関連遺産の地の１つとしても有名な場所ですね。

黒崎中学校では少ない生徒にもかかわらず、現在では大きな学校ですらやっているところが少なくなった、たぶん昭和生まれの人は経験している本格的な文化祭をやっておりまして、その伝統は外海中学校にもしっかりと引き継がれています。

旧黒崎中学校校舎

私の文化祭の担当はバンド演奏指導ということで、楽器などほとんど持ったこともないような生徒を１か月間でステージに立たせるという無謀なことをやっておりました。退職後も依頼を受け、引き続き文化祭のお手伝いをしているというわけです。

皆さんは覚えていないでしょうね。私入学したてのウブな頃、ヨット部の新歓コンパで何か出し物をやれということで、なんとクラシックギターを演奏したんですよ。なんとまあ世間知らずというか冗談が通じないというか、そんな堅物が、ヨット部生活４年で皆さんご存じの立派な酒乱に成長させてもらいました。

リハーサル風景

昔の話はさておき、８月に生徒のやりたい曲を１００曲くらいリクエストしてもらい、聞いたこともない今はやりの曲を毎日毎日聞いて、出来そうな曲を３，４曲にしぼり楽譜を手に入れます。当然楽譜通りにはできないので、生徒ができるように編曲し生徒用の楽譜をつくります。それから、もし生徒が文化祭当日、病気やけがで欠席したとき、代理が務められるように私もギターやベースの練習をしなければなりません。そうこうしているうちに９

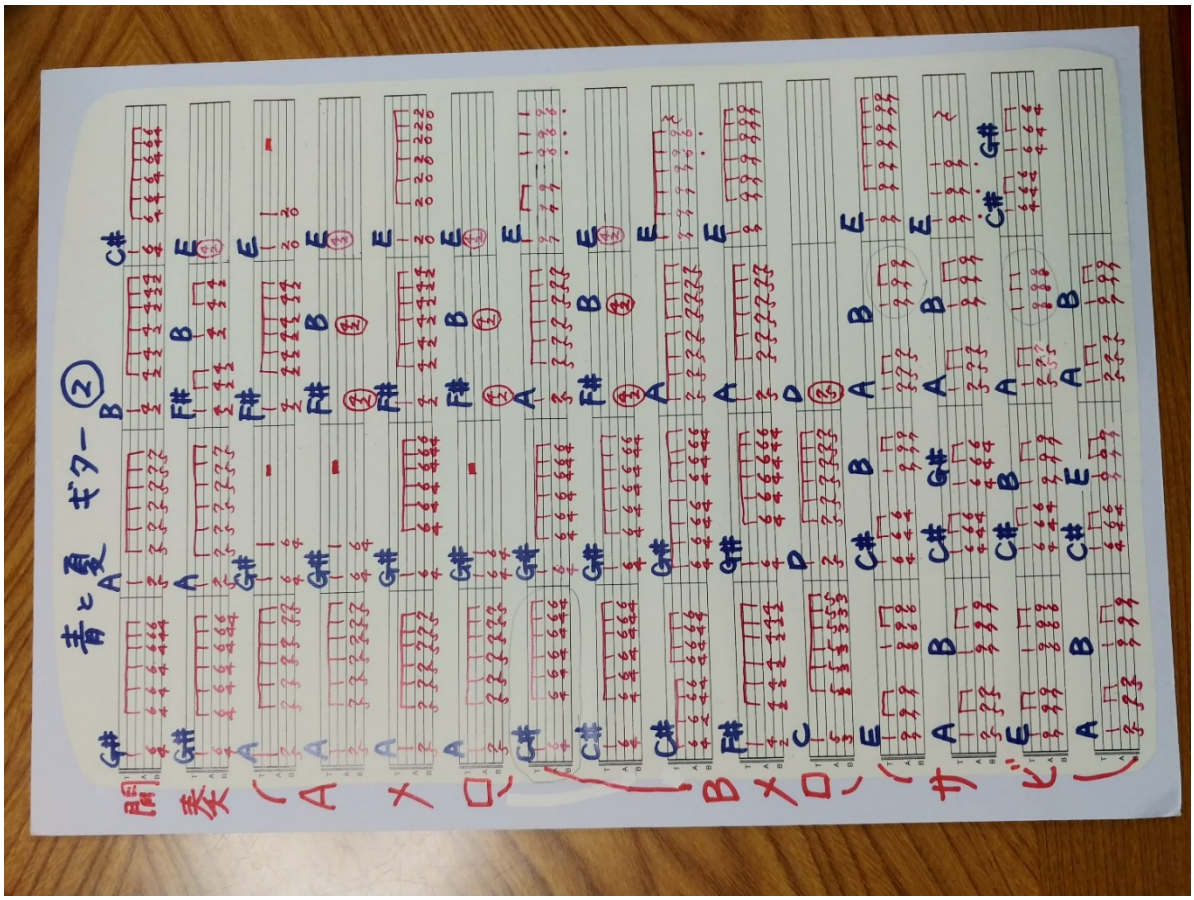
月の体育祭が終わって、１０月に入っていよいよ生徒の練習が始まり１０月後半の文化祭を迎えるわけです。

まるでミュージシャンのような生活が３か月続きます。そんなに音楽に詳しくもなければ情熱もなく、ましてやこの年で記憶力も体力も気力も減退した中での音楽づくめの生活で、やっぱ俺って音楽そんな好きじゃないよなって改めて思い知らされる３か月でもあります。

それでも発表が終わった後の、ついに成し遂げたという、達成感に輝く子供たちのすがすがしい顔はいつ見てもいいものですね。音楽もまんざら捨てたものでもないみたいです。来年はどんな曲をやるのかなと思いながら残り９か月、のんべんだらりの生活に埋没していく今日この頃です。

令和２年１１月

原曲とまったく違う生徒用の楽譜



先日６０万円のギターを買っちゃいました。

近況報告

昭和 51 年入部　　奥嶋　裕司

琴風会の皆様とは、創部 50 周年にてお会いして以来となり、大変長いご無沙汰をしております。7 月頃、「あいつ、どげんしよっとかいな・・・」と、佐伯いや貝原さんより原稿依頼がありました。〆切は 12 月末でしたので、取りあえずほかしていたのですが、12 月に入り、流石に何とかせんにゃと書き始めたところです。自分は現役の時、琴風の編集をしたことがあり、原稿と広告を集めることがいかに大変か身をもって感じたもので、そう言えば米原先輩には“去るにあたって”を何回もお願いしたのにとうとう書いて頂けないまま卒業していかれました。こんな思い出もあり、依頼をほかすわけにもいかず、貝原さんも大変だろうなと思いつつ、取りあえず書き始めてみることにしました。

また数年前に掲載された、2 年上の八百山先輩や 1 年上の大久保先輩の近況報告は大変懐かしく拝見させて頂きました。

私は卒業後しばらく福岡の食品会社に勤めておりましたが、事情により地元山口に帰省、下水処理場等の公共施設を維持管理する会社に再就職しました。ほぼ県内の下水処理場勤務に終始しましたが、一言に維持管理と言っても処理場の運転管理と水質管理はもちろん、電気・機械設備等のメンテナンス、場内整備・植栽管理なども含む幅広いものでした。また、梅雨末期の集中豪雨、台風、そしてこれらに伴う停電対応も行わねばならず、大雨警報発令時は 24 時間何時でも出勤し、警報解除するまで、あるいは停電復旧まで 2～3 日処理場に泊まり込みということも再々でした。

60 歳定年後は嘱託として勤務を続けていましたが、ごく最近体力・気力の限界を感じ、カミさんのお許しも頂いて、少し早いのですが思い切って仕事をリタイヤしました。現在は認知症の婆さんと 3 人で暮らしており、御多分に漏れず老々介護の日々です。還暦祝いに伊勢神宮に招待してく

れた子供達も、長女は大阪に住み、長男は東京で勤務していて、コロナのお陰で２人の孫にも思い通りに会えません。やむなくカミさんと２人、県内を安く旅しているところです。

写真をできるだけたくさん添えてくれとのことですので、現役時代の写真を捜しまくってやっと見つけました。懐かしく思い出していますが、昔の面影が今は全くありません。ヨット部の思い出は多々ありますが、一番はスピンポールを２度続けて海に落としたことです。大村での練習中だったと思います。1度目は古いポールを落として新しいやつを買ったのですが、とんでもないことに、暫くしてその新しいのもまた落としてしまい、ヒールを殺しながら明日からの生活をどないしようと暗ーい気持ちになったことがありました。森岡先輩に怒鳴られたかどうかは記憶にありませんが、恐らくしばかれたと思います。

昔の写真を見るとこんな時代もあったんだなと思います。髪はうっとうしいほどふさふさで、お腹もスッキリスマートに写っているのですが、今では頭は白く薄くなり、体重も 80 の大台に乗りそうな勢いです。しかし、それはならんとカミさんと毎日１万㎞のウオーキングと、休肝日を週３回にすることを目標にしてみましたが、中々思い通りになりません。ヨットとは無縁の毎日ですが、海に繋がるものとしてよく釣りには出掛けています。

昨年はランタン祭りなるものを見に、久し振りに長崎を訪れましたが、格段に交通網が進歩しているのに驚きました。龍馬のブーツを皮切りに、出島、原爆資料館と歩き回り、特に平和公園は昔、銭湯に通うための通り道でもあり、間違いなく長崎は若い頃の思い出の街だと再確認したものでした。

琴風につきましては文章もさることながら、掲載される写真にて先輩方、同輩、後輩達の変わりゆく御姿を毎回楽しく拝見させて頂いています。最後に、これからも長大ヨット部の御活躍と琴風会の益々の御発展を心より祈念致します。

ヨット部生活の思い出

昭和 51 年入部　乙吉　隆司

昭和 51 年入学　最初のクルージングが爽やかで心地が良いものであった。当初 15 人以上ヨット部に入部していたが、ゴールデンウイーク前の春合宿頃から退部していくものがあり、夏合宿から秋合宿に至り、最終的には糸永、川口、奥島、荒木、乙吉の 5 名が卒業まで残った。

今、思い出しても長期合宿を実施し、暑さ、寒さも絶え忍んでよく 4 年間成し遂げられたと思う。同期が支えになり、諸先輩のご指導と後輩達が長大ヨット部を全国制覇まであと一歩のところまでなったこと、それから部員が集まらず、苦労され、現役との繋がりを継続的にされ、ヨット部への援助等を支える、活動される姿は素晴らしいことです。

就職し、40 年近く経てもあの頃が懐かしい。今は、3 人の子供がおり孫もできた、最近では、趣味のスキューバダイビングを楽しみ、ここ 2 年は石垣島、宮古島へ遊びに行っていました。今年はコロナ禍のため県外へは外出していません。

私の記憶を辿ってみると

・3 年次にインターカレッジに参加（三重津市ヨットハーバー）

参加選手：主将　大久保、副主将　荒川、糸永、乙吉、貝原、林、吉村、足立

初めての全国大会に臨む気持ちは、九州一の実績を残していた長大はレンタル艇であったがよく走った。結果は記憶があまりないので、上位ではないと思います。

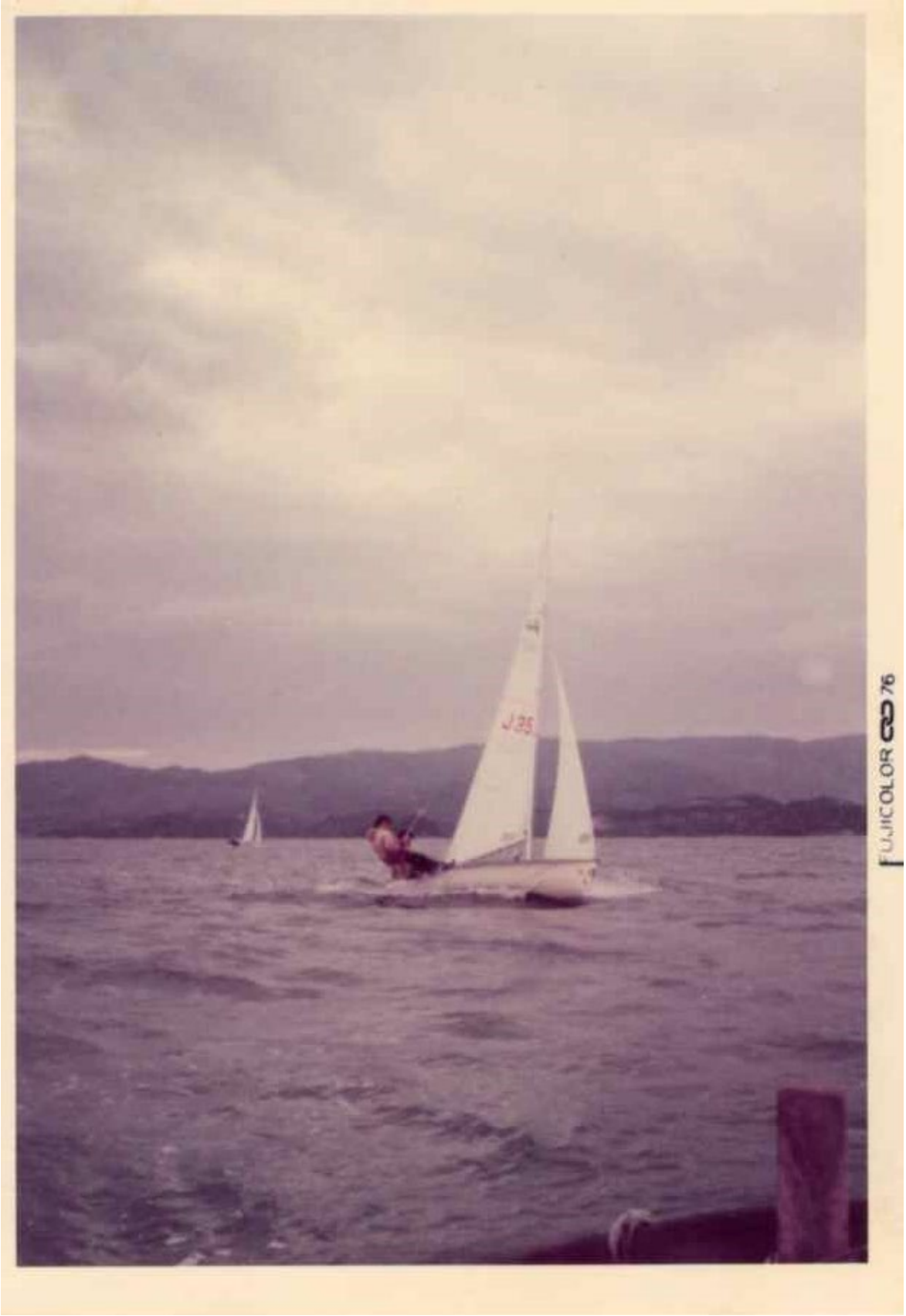
・昭和 54 年 10 月　4 年次の宮崎国体に長大出身者
長崎代表 470 級　　スキッパー八幡　クルー藤田（愛媛大学ヨット部卒）
長崎代表 スナイプ級　スキッパー乙吉　クルー足立
大分代表 スナイプ級　スキッパー糸永　クルー亀井
　各クラスとも成績は 20 位以内ではないかと記憶しています。

ときには八幡先輩と飲みにいくと自宅へ泊り、翌朝にはお母さまが朝食の準備をされており、おいしくいただきました。ありがとうございます。
学生生活の 4 年間はあっという間に過ぎますが、ヨット部での生活は一生の宝ものであります。いつまでも、海がすきで、たまに、瀬戸内海、日本海等に遊びにいきます。
山口県のヨット競技は、光市に山口県スポーツ交流村で整備されたヨットハーバーと合宿所が完備され、小学生から高校生は国体・全国大会等で優勝しています。ヨット人口が減少するなか、協会役員の方及び保護者、地域の方が協力されています。競技に打込む環境が整っていることが、しあわせであると感じました。
最後になりますが、コロナ禍のなか、皆様、健康に気を付けてください。

実家を探して、現役時代のヨット部等の写真が見つかりました。ヨットに乗っていたもの、追出しコンパ時、私の前後の方はみな、懐かしいとおもいます。

J-1

21990
19765


J35
FUJICOLOR 76

知ってますか？

＜ヨット部＞

潮の香りと風に誘われ、俺達はほとんどフルシーズン海の上で生きています。時には講義を休み、ありとあらゆる休みを返上して必死に生きているのです。たとえその結果はどうであろうとも。真夏の炎天下の下、風のない地獄を知っていますか？冬の水の冷たさ、風のきびしさを知っていますか？試験休み、学園祭でみんな楽しんでいる時の俺達の気持ちを知っていますか？合宿中の時の長さ、重さを知っていますか？

こんな中で俺達は本当の血と汗と涙を流して悩み戦っているのです。ヨット部においては、バカになりきることが大切だと思います。最近の息のつまる様な世の中で、こんなバカな俺達をむかえてくれるのは、やっぱり海しかないのでしょうか？

今年の宮崎国体では、我ヨット部より六人が参加し(内女子二人)それぞれ活躍、今後も楽しみのヨット部でした。知っとった？

長崎大学ヨット部応援歌作詞募集

ヨット部創立二十五周年

来年は長崎大学創立三十周年にあたります。

我ヨット部におきましても部創立二十五周年、九州インカレ初優勝十周年にあたります。

全国大学へ駒を進めること五度、今年も糸永主将以下、明日の全国征覇を夢みて猛練習に励んでおります。現在O・B会員は百五十余名を数え、来年のO・B会におきましては、二十五周年、十周年を記念しまして家族をも巻き込んだ、大記念パーティを予定しております。

ところで、ヨット部には愛唱歌はたくさんありますが、残念なことに部としての応援歌を持ちません、ヨット部としては、二十五周年、十周年を記念しまして広く学内に応援歌を募集したいと考えます。

すでに全国大会へは五回も駒を進めていますが長大ヨット部部旗闘魂の旗の下、熱血、燃ゆる歌をお願いします。

ヨット部のホームランドは大村湾（子々川）にあり、ホッチョイのかけ声で艇を出します。乗員は二名（艇長クルー）のペアが乗りくみ協力しあって、艇を走らせます。風が吹けば、バランスをとるヒール殺しがきつくなり、凪は凪で暑い汗を流す訳です。試合は各級三艇出場し、得点で競い合う訳です。喜こびは自然とのふれ合い、勝負に勝つこと、酒飲み合うことといろいろあります。長大ヨット部の伝統としては、何事にも熱中するバカさと、闘魂の旗にひめた潮ッ気にあると自負しております。

応募した作品のうち、優秀な作品物は賞金、金一封とクルーシングへ御紹介いたします。

宛先　長崎市文教町一の十四
　　長崎大学　学生課
　　長崎大学ヨット部宛

期限　昭和五十四年二月末日

近況報告

S６１年入部　濱田建一郎

　みなさま元気にしとりますか？？　貝原先輩からの原稿依頼を思い出したのは、コロナ禍の緊急事態宣言が出された令和 3 年１月下旬・・・　せめて写真でもと思い、探したら出てきました！　手元にあったのは昭和 63 年の小戸ヨットハーバーで行われたインカレのもの・・・　若い！　痩せてる！　髪がフサフサ！

　近頃は加齢に応じて進化を遂げておりますが、これ以上はコメントできません（笑）
ご笑覧いただき、皆様に少しでも元気を与えられたら幸いです。

BATMAN

2419

J
24407
J
24877

氏名
(入部年)

令和元年 10 月
福岡県福津市友人宅

振り返り

平成８年入部　鎌田晋吾

卒後 20 年という事で、振り返れば想像以上にあっという間でした。
５年前に再び東京から転勤となり、現在は鳥取県米子市（職場は島根県安来市）で
海外産のズワイガニ・地元水揚げの紅ズワイガニなどの加工・輸入・販売をしています。
せっかく地元に帰ってきて、境港公共マリーナという立派なハーバーがありながら
その隣で魚釣りにはまってしまった、ヨット部卒として不届き者な休日を過ごしてます。

私の現役としての４年間も少なからず色んな事がありましたが、新歓オリエンテーションで中部講堂前を歩いていたところ、１つ上の竜介さんに声を掛けられ、入部した事から始まりました。入部当時は、現在の子々川研修所が新築工事中だったのと、その年の夏の九州インカレがサンセットマリーナでしたので、毎週末福田まで通っていました。
すげーな！大学生ってこんな立派なところで練習するんだ！！と錯覚に陥りました笑。
３月の新人戦前の合宿では、すごいブローで６艇全艇同時に沈してしまい、琴風がガス欠で帰るという事がありました。当時スキッパーの伊藤さんと沈起こしした後、たまたまそばで沈した竜介さん（3706）にぶつかり、合流した後に海峡手前でメインセールが真っ二つに破れながら、ジブだけで海峡を進み奇跡的に帰ったと思います。
福岡大学も同じ時、遭難１歩手間で、姪浜をランニングしていた王監督とダイエーホークスに救助されたんじゃなかったかと（当時の記憶なんで多分ですが…）。
翌年???の新人戦（小戸）の宿泊先は少年自然の家に宿泊しましたが
夜にレクリエーションをする事が宿泊条件でして、レース後ヘトヘトな状態で全員でバスケやバレーをして、１周回りハイになって楽しい思い出でした笑。
３年時に学生部からスナイプ（29224）を寄贈頂いた時は、発注先である村井ヨットに行って、直接話を聞けた貴重な体験をさせてもらいました。
最終年度の九州インカレ前に、ジュニア時代の旧友にお願いして、鹿屋体育大学との合宿を行いましたが、もう引退って時に全然自分ってできてないなと、最後にヘコミました。飲まんば走らん！」が当時の合言葉で、大した成績も残せませんでしたが、クソ根性みたいなものが身について、今の自分にプラスになっていると思っています。

私生活はむしろバウ沈気味ですが、同年代の OB、先輩・後輩の OB の方とも交流を深めながら、今後も可能なだけ現役の皆様へ協力ができればと思っています。
まともなオチですみません。

近況のご報告

大変ご無沙汰しております。平成１８年入部の田井（旧姓：追立）と申します。卒業してあっというまに１０年の月日が経ちました。

今年は新型コロナウイルス（COVID-19）の大流行やアメリカ大統領選挙などで暮らしに大きな変化のあった年でしたね。
私は、縁あって長崎大学の中で働いております。今年は、入学式の後の部活勧誘の群れも見当たらず、４月の“新歓祭”という部活・サークル勧誘の一大イベントは延期となっていました。これは、新入生だけでなく現役の学生さんたちにはショッキングな出来事だったのではないかと思います。
しかし、キャンパス内に掲示されていたヨット部の勧誘看板を拝見しましたが、オンライン飲み会の開催や SNS での勧誘活動など、最新の道具を駆使して新たな勧誘活動を行っているようで、たくましさに感心しました。（10 月に新歓祭は開催されておりました。）
また、長大ヨット部と工業高校との合同練習が新聞記事（しかもカラー写真！）になっているのを見つけたときは思わず声をあげました。コロナ禍にも負けず頑張っているようで何よりです。これからもどんどん頑張って欲しいです。

個人的な近況としましては、山の上に家を建てました。夫、娘 2 人、そして猫 1 匹（3 歳）と暮らしています。そういえば最近、夫が琴風会の副会長になったと話しておりました。どうぞよろしくお願いいたします。
子々川へは距離的に近くなったのですが、めっきり足が遠いてしまっております。。。たまにふと、４７０に乗りたい欲、ヒールつぶしたい欲と思うことがあります。いつかの時のために体力作りしておかないとなあ、とビール片手に思う日々です。

（2020 年 12 月　門松作り＠県民の森）

（我が家の猫、房之介です。）

（平成 22 年 3 月　卒業式）

（いつぞやの子々川）

2020年度　活動報告書

2020年	活動	場所
7月25日～26日	大村湾レース	時津B&G海洋センター 時津（長崎）
9月12日～13日	長崎工業高校 長崎大学合同練習会	サンセットマリーナ 福田（長崎）
10月3日～4日	長崎県民体育大会	サンセットマリーナ 福田（長崎）

新型コロナウイルス感染症の流行で、長崎県境を超えての遠征は大学より許可がおりず、九州インカレ等のレース出場は出来ませんでした。長崎県内で何とかレースが出来るようにと工夫をし、レース活動を行いました。新型コロナウイルス感染症が沈静化しレース活動が再開でいましたら大きく飛躍すべく、出来る限りの活動を行っています。

困難な状況にある中でも先輩皆さまより変わらぬ援助をいただき、470セールフルセットを3艇分購入いただき、がんばるぞ！と大きなモチベーションとなっています。

ありがとうございました！

レース活動再開の際は、Newセールで長大旋風を巻き起こします！

現役部員一同より

紙面編集・佐藤武郎　（第３種郵便物認可）　長

交流レースで競り合う長崎工高と長崎大＝長崎サンセットマリーナ沖

交流レースで高め合う

長崎工高・長崎大ヨット部合同練習会

コロナ禍の時間 プラスに

長崎工高と長崎大の両ヨット部が12、13日、長崎市の長崎サンセットマリーナで合同練習会を行い、それぞれのレベルアップを図った。コロナ禍による大会中止や遠征自粛で生まれた時間をプラスにしようと、長崎工高の三嶋由之監督が企画。

三嶋監督は「互いに協力して、各カテゴリーでいい結果が出せたら。長崎ヨット界の活性化につなげたい」と先を見据えている。

長崎工高女子ヨット部は全国上位入賞の常連校。今季は1、2年生7人で活動している。インターハイの代替で8月中旬に開かれた全国大会に参加予定だったが、県教委の県外遠征自粛通知を受けて断念した。

長崎大ヨット部は歴史が長く、かつては国体優勝者も出した。現在は1～3年生の男女計13人が所属。直近の目標は10月の九州学生選手権だが、コロナの状況を考慮して出場可否を判断する。

海洋県の長崎は練習環境に恵まれ、各チームが練習場を持つだけに、他校と交流する機会は少なかった。今回は長崎大が長崎工高の拠点を訪れて練習に参加。長崎大OBで県セーリング連盟の江上徹也会長は「三嶋先生のいい指導を受けて、学生もいい刺激になったはず」と満足げだった。

最終日は交流レースを実施。420級の高校生3艇が、サイズの大きな470級の大学生2艇に挑んだ。勝ったり負けたりしながら、貴重な実戦経験を積んだ高校生。2年生スキッパーの樋口波瑚、山口綾子は「もっと前を走りたかった。どんな状況でも対応できるようになりたい」「来年のインターハイ金メダルを目指して、チーム力を上げていく」と決意を新たにしていた。

大学生も積極的に高校生と意見交換するなど、有意義な時間を過ごした様子。3年生スキッパーの丸山浩希は「海上スキルはもちろん、陸上の先を考えた行動など、高校生から見習う部分は多かった。また一緒に練習できたらうれしい」と笑顔だった。

（黒川美穂子）

B&G
B

YAMAHA

JPN
170616

長崎大

長崎大学ヨット部琴風会会則

第一条　本会は長崎大学ヨット部卒業生間の親睦交流及び長崎大学ヨット部の後援を目的とする。

第二条　本会は長崎大学ヨット部卒業生及び長崎大学ヨット部に功績のあった者で本会総会で承認された者より構成される。

第三条　本会に会長一名、副会長一名、役員若干名、会計一名、顧問数名を置く。

第四条　会長・副会長・役員・会計・顧問は総会の互選又は推薦による。

第五条　会長は総務を司り副会長はこれを補佐する。
役員は毎卒業年度の会員との連絡を密にし会の運営を司る。

第六条　役員会は会長の意のもとに任時かいさいする。
本会の運営は総会及び役員会の議決による。

第七条　毎年夏期に総会を開催する。その際、新年度の役員を改選し会計報告を行う。

第八条　第一条の目的の為、OB レース・クルージング、現役部員と共に合宿訓練などを行う。

第九条　会計は会員の会費及び寄付金によって運営する。
会費は年間五千円とし、会計年度は 4 月から 3 月までとする。

第十条　本会の名称を琴風会と称し、事務所は福田ゆたか外科医院とする。

第十一条　5 年以上会費未納の場合は「琴風」の発送を停止する。但し、その後会費納付の際はその限りにあらず。
70 歳を超える会員については、会費納入は任意とする。

編集後記

本年は、沢山の原稿をいただき賑やかな琴風誌ができました。ありがとうございます。Web版では紙面で割愛しました写真をカラーでふんだんに掲載しています。“**長崎大学ヨット部琴風会**”にアクセスし楽しい写真をご覧ください。

皆様の寄稿を楽しみにしております。琴風誌についてご意見・ご希望がありましたら、是非ともご連絡ください。

*Kai Waves*事務・作業係り：貝原　宗重

2021年5月27日記